



## 今月の「インターンはこんな感じ」

こんな企業様でインターンをしています！

### 株式会社S 様



#### 株式会社Sはどんな会社？

##### □事業内容

美容・健康・癒しに特化したポータルサイトの運営。  
20代・30代の働く女性に、美容・健康・癒しのお店を紹介しています。

##### □設立

2001年1月10日

##### □所在地

大阪府中央区南船場

##### □社員数（受け入れ当時）

社員約50名

##### □契約内容

インターン週2日×4名

##### □なぜインターン総研に依頼されたのか？

「新卒採用の強化」「学生への認知度を高める」ためだったそうです。また、「**お金でなく仕事のために来られる学生さんはとてもやる気があるだろう**」と、とても興味を持たれ、ベンチャー志向の高い方とつながりができればその「縁」を大切にしたいと考えられたそうです。

##### □インターン生の仕事

営業の補助から行っていただきました。リスト作成、テレアポ、メール営業などから始まり、営業同行で経験を積んでから、一人で営業に行けるようになってもらいました。

インターン生向けに業務を新たに作ることはしませんでした。**インターン生を社員と捉え、通常業務を割り振り、そのなかでインターン生の裁量を増やしていきま**した。

#### 取締役副社長兼 CFO 特 様のお話

インターン生に対しては、「意外とやりよるなあ」という印象です。**タフですし、やはり意識が違うので、こちらとしても貴重な戦力として重宝させていただきます。**

インターン生には、勉強ができるできないという類の頭の良さではなく(もちろん勉強もできますが)、地頭の良さ(学習能力や理解能力など素養の高さ)を感じました。それでいて謙虚でやる気もあるので、スタッフからも高評価を得ていました。

今までにインターンを受け入れたことがなく、初めてのことだったので、当初は「これやっという」「あれやっという」と機械的に任せるだけになり、学生さんに戸惑いを生んでしまいました。

そこで、**学生さんの100%のパフォーマンスを引き出すために、例えばテレアポ1つでも「なぜこの仕事をするのか」「この仕事は今後どんな仕事に発展していくのか」といった「意義」を伝えることで、学生の迷いを防ぐことに努めました。**

やはりモチベーションに配慮するようになってから、学生のパフォーマンスがぐんと上がりました。社員にはずっとやってきたことだったのですが、やはり学生も差別なく同じように接するべきだと気付いたのです。

**受け入れ態勢が整っていなくても、コミュニケーションさえ欠かさなければ、学生は高いパフォーマンスを発揮してくれます。**こちらとしても大いに勉強になりました。

## インターン生の方はこんな方です

#### インターン生のご紹介

##### □大学

大阪市立大学

##### □職務

営業アシスタント

##### □氏名、性別

菅野陽介さん、男性

#### インターンを終えて…

- ①自分に向いている仕事を知りたかったから
  - ②自分で考えて行動するというのがどういふ事か知りたかったから
- インターンシップを始めたきっかけはこの2点です。

どの業界に入っても必要とされる職種が営業であると思い、営業をやることに。インターンを始めて感じたことは、「仕事とは想像以上に地味なものだ」ということでした。しかしそのような作業が積み重なって大きな仕事ができるのだとも知りました。**社員の方に「地味なことでも会社にとっては非常に大事なことなんだよ」と励ましの言葉を頂いたことが印象に残っています。**

主に電話でサイトに来店していただいた店舗様の受注管理の連絡をしていましたが、「電話越したと声がかかるとオクターブ低く聞こえるから、いつもよりも高い声で話すといい」「**1本10円の電話でもバカにはできない**」など様々な助言を頂き、とても勉強になりました。何より心にジーンと響きました。

最後に、一番嬉しかったことは通販サイトで扱っている商品をひとつ、勤務最終日に社員の方からプレゼントされたことです。今までの自分の努力を認めて頂いたことがとても嬉しく感じました！

#### 仕事内容

リスト作成、テレアポ、メール営業など営業の補助から始まり、サイトに来店して頂いた店舗様の受注管理の連絡をするように。単調な作業が多いなと思ったこともありますが、企業側の視点からこれらの業務について考え、業務の大切さを学び、意欲的に取り

組みました。限られた範囲の中で自分がどれくらい何かを吸収できるかを考えて仕事をしました。

#### インターンシップ総合研究所からの声

##### インターン総合研究所担当者：坂口

菅野さんは、当初は少しはにかみやの心根の優しい方という印象でしたが、実際インターンシップを始めると、とても真面目でしっかりした方だという印象が強くなりました。

菅野さんの真面目で一本気な一面を初めて見たのは、インターン開始1週間目です。というのも、なんとメールアドレスに一生懸命になりすぎて腱鞘炎になってしまったのです！！これは菅野さんの最初の壁だったのではないかと思います。病院に行きながらも、時間の使い方などのバランスについて「菅野さん自身で」しっかりと考慮されていたのが印象的でした。

菅野さんが自分のペースで仕事をこなすようになり、余裕と自信が芽生えていく様子は、とてもたくましかったです。インターンの終盤にお会いした時には、本当に明るく穏やかな表情になっていました。

**見た目に惑わされないこと、自分で仕事の意義を見出して行動すること。菅野さんのように「確かな自律心」「本質を見抜く目」を養うことができるので、学生の内にインターンをして欲しいなと思います。**

このインターンで確立された  
・しっかりとした真面目さ  
・揺るがず、軸がぶれないしなやかさ  
・自分の課題点を越えるために、周囲の意見を取り入れられる謙虚さ  
という菅野さんの強みを、今後の成長に活かしていただければと思います。

今秋から就職活動も始まりますが、数年後、菅野さんがひとつの会社をしっかりと支えるメンバーになっている事を楽しみにしています！！